

平成19年9月  
 富士電機機器制御株式会社  
 システム機器事業部

## MICREX - SXシリーズ SPH SPH2000 機能拡張のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、富士プログラマブルコントローラをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、MICREX - SXシリーズ SPH2000において、ファームウェアのバージョンアップによる機能拡張を行いましたのでご案内申し上げます。

敬具

- 記 -

### 1. SPH2000変更内容

項目	対象形式	機能拡張項目
ファームウェア変更	SPH2000	(1) I / O機能拡張 (256E/256H)
	CPUモジュール	(2)冗長化 + I / O機能拡張 (256H)
	NP1PM-48R	(3)FTP / SNTTPクライアント (48E/256E/256H)
	NP1PM-48E	(4)倍精度浮動小数点演算命令
	NP1PM-256E (NP1PM-256H)	(5)CFロングファイルネーム

注意：NP1PM-256Hは2007年6月発売です。

### 2. SPH2000変更に伴う注意事項

(1)2007年7月の生産品より対応しました。

(2)対応バージョン

ファームウェアバージョン「V08」以降にて対応します。

(3)価格、および形式は、現行製品と同一で、変更はありません。

(4)本機能を使用するには、プログラミング支援ツール SX-Programmerのバージョンアップが必要です。

・Expert(D300win)V3(NP4H-SEDBV3) :V3.4.1.0以降

### 3. 機能拡張項目の概要

(1) I / O 拡張機能

対象形式は、NP1PM-256E と NP1PM-256H です。

SPH3000で対応済のI/O拡張機能(最大512ワード 4096ワード)に対応しました。

(2)冗長化 + I / O 拡張機能

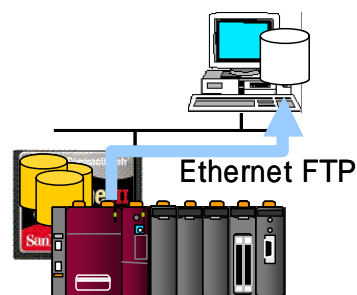
対象形式は、NP1PM-256H です。

冗長化機能とI/O拡張機能が同時使用できなかったSPH3000に対し、NP1PM-256Hでは冗長化機能とI/O拡張機能の同時使用を可能としました。

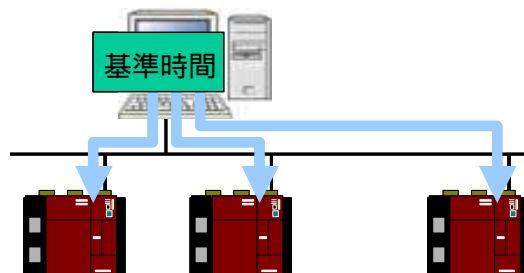
本機能で使用可能なリモートマスタはPROFIBUS-DPマスタモジュール(形式：NP1L-PD1バージョンV34以降)が対象となります。

- (3) F T P / S N T P クライアント機能  
対象形式は、NP1PM-48E、NP1PM-256E、NP1PM-256H です。

F T P クライアント  
内蔵イーサネットを使用し、外部の F T P  
サーバーに対して P L C ユーザアプリケーション  
より自ら F T P 通信にてコンパクトフラッシュ  
カード内のファイルを送受信する機能に  
対応しました。



S N T P クライアント  
内蔵イーサネットを使用し、外部の S N T P  
サーバーに同期して時刻合わせを行う機能に  
対応しました。



- (4) 倍精度浮動小数点演算命令  
対象形式は、NP1PM-48R、NP1PM-48E、NP1PM-256E、NP1PM-256H です。  
S P H 3 0 0 に対応済の単精度の浮動小数点演算命令に加え、倍精度浮動小数点演算命令 ( 3 1 種 ) に  
対応しました。

- (5) C F ロングファイルネーム  
対象形式は、NP1PM-48R、NP1PM-48E、NP1PM-256E、NP1PM-256H です。  
コンパクトフラッシュカード ( C F ) アクセス命令 ( 6 種 ) にて、ロングファイルネーム ( V F A T 形  
式 ) のファイル名に対応しました。

以 上